

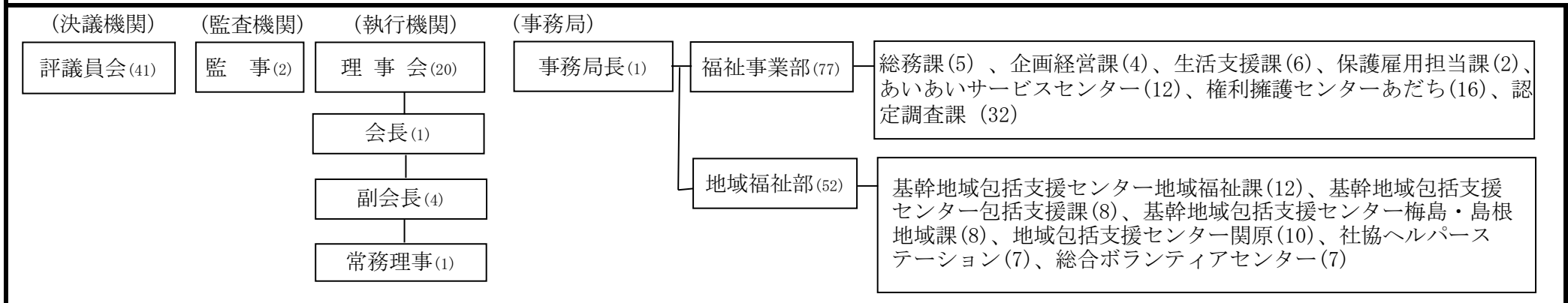
# 令和3年度公社事業概要・収支予算説明書

## 1 概要説明

令和3年1月1日現在

名 称	社会福祉法人 足立区社会福祉協議会	所 在 地	足立区中央本町一丁目17番1号
設 立 年 月 日 法 人 認 可 日	昭和30年3月19日 昭和40年6月30日	代 表 者	会長 中田貢弘
職員数(実員)	常勤73名(派遣2名 固有71名) 再任用6名 非常勤50名 合計129名	基 本 財 産	450万円

## 2 組織機構



## 3 令和3年度経営方針と重点事項

### 【経営方針】

- 1 新型コロナウイルスの状況を踏まえ、各事業の目標や目的を再検証し、必要に応じ事業の廃止や停止を含めた見直しやリモート等の代替手段を講じる
- 2 ウィズコロナ、アフターコロナを見据え、「第4次社協発展・強化計画」、「第3次足立区地域福祉活動計画」を策定する
- 3 大規模災害に備えボランティアセンター機能を見直すとともに、日常生活における支え合いを通じた地域課題別の解決力向上に資する仕組みづくりについても引き続き注力する

### 【重点事項】

- 1 地域包括ケアシステムと連動した地域の連携づくり
- 2 災害時における支援の体制づくり
- 3 子どもの貧困対策としての居場所づくり
- 4 必要な情報が発信・共有できる仕組みづくり

#### 4 令和3年度の主な公益目的事業等詳細内容

<p>1 地域包括ケアシステムと連動した地域の連携づくり 区と連携して進めている地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域人材育成、地域資源開発、地域ネットワーク構築等、地域が連携して支え合う仕組みづくりに取り組む。 事業予算 R2【6,656,000円】 R3【4,800,000円】</p> <p>(1) 地域を支える人材の発掘・育成 ①オンラインの活用等多様な手段を用いた講座の開催 ②会議等への参加による地域を支える人材の発掘・育成 ③自主グループ化支援や地域活動団体等の活動へのつなぎ</p> <p>(2) 地域資源開発 ①第2層地域支え合い推進員と連携した地域課題の集約 ②地域課題解決に向けたサービス創出や居場所づくり サロン数 R2【160か所】 R3【160か所】 (参考) R1実績【151か所】</p> <p>(3) 地域ネットワーク構築 ①既存の団体や社会福祉法人連絡会との連携強化 ②地域住民と関係機関が地域課題を検討する機会の創出と課題解決の取組への支援 ③コロナ禍での新たな地域連携と運営方法の検討 地域ネットワーク構築ブロック数 R2【5ブロック】 R3【5ブロック】</p>	<p>2 災害時における支援体制づくり 風水害や地震などの大規模災害発生時にボランティアが円滑に活動できるよう、体制整備を進める。 事業予算 R2【476,000円】 R3【480,000円】</p> <p>(1) 災害ボランティア登録制度の推進と関係機関との連携強化 ①災害ボランティア養成講座、災害に関する研修等の開催 ②災害ボランティアセンターネットワーク会議の運営支援 災害ボランティア登録者数 R2【250名】 R3【400名】 (参考) R1実績【221名】</p> <p>(2) 実態に即したマニュアルの改訂 ①災害ボランティアセンター運営マニュアルの改訂 (風水害やコロナ禍を踏まえた対応) ②事業継続計画(BCP)、発災時職員行動マニュアル等の整備</p> <p>3 子どもの貧困対策としての居場所づくり 新型コロナウイルスの感染状況を勘案した上で、可能な範囲で子どもたちの学習の場や遊び、交流の場を確保し、子どもの居場所づくりを推進する。 事業予算 R2【558,000円】 R3【558,000円】</p> <p>(1) 子どもの居場所づくりの推進 ①既存の2校を中心に多学年や地域住民との交流の場を提供 ②子どもたちの学びや余暇を担う協力団体への運営支援 (参考) R1実績【2団体】 ③協力団体や学生ボランティアへの研修や交流の場の提供 交流会開催数 R2【2回】 R3【2回】 (参考) R1実績【1回】 サロン開催箇所数 R2【4か所】 R3【4か所】 (参考) R1実績【2か所】</p>
---	--

#### 4 令和3年度の主な公益目的事業等詳細内容

- |  |  |
|--|--|
| <p>4 必要な情報が発信・共有できる仕組みづくり<br/>広報に関する基本方針「知ろう 広げよう つなげよう」に基づき、以下の取り組みを行う。<br/>事業予算 R2【557,000円】R3【486,000円】</p> <p>(1) 職員の広報スキル向上<br/>①若手職員の区実施研修への参加<br/>研修参加者数 R2【3名】R3【4名】<br/>(参考) R1実績【4名】</p> <p>(2) ささえあいリポーターを活用した区民目線での情報発信<br/>①ささえあいリポーター向けの研修会や交流会の開催<br/>ささえあいリポーター登録者数 R2【20名】 R3【20名】<br/>(参考) ささえあいリポーター登録者数R1実績【19名】<br/>広報誌掲載R1実績【3本】<br/>交流会R1実績【4回】</p> <p>(3) 身近で親しみやすい組織を目指した広報媒体の活用<br/>①足立社協パンフレットの更新・増刷<br/>(参考) R1実績【2,000部】<br/>②足立社協LINEスタンプやSNS (Facebook) の活用</p> |  |
|--|--|

5 収支予算(正味財産増減計算ベース)

I 一般正味財産増減の部

1. 経常増減の部

(1) 経常収益

社会福祉事業会計・公益事業等会計・法人会計

単位：円

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較 増 減	概要(比較増減理由)
基本財産運用益				
基本財産受取利息 <1>	1,000	1,000	0	
基本財産運用益計 <2>	1,000	1,000	0	
特定資産運用益				
特定資産受取利息 <3>	7,091,000	7,262,000	△ 171,000	1)低金利による利息の収入減
特定資産運用益計 <4>	7,091,000	7,262,000	△ 171,000	
その他固定資産運用益				
その他固定資産受取利息 <5>	0	0	0	
その他固定資産運用益計 <6>	0	0	0	
事業収益				
会費収益 <7>	10,847,000	12,668,000	△ 1,821,000	1)新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、民生委員に依頼していた会費集金を中止し、郵送による会費振り込み依頼としたため
寄附金収益 <8>	11,050,000	11,050,000	0	
事業収益 <9>	38,477,000	41,609,000	△ 3,132,000	1)地域福祉権利擁護事業(1,627,000円 利用料収入減のため 前年比497,000円減) 2)障がい者保護雇用清掃事業(34,560,000円 清掃拠点一か所減のため 前年比2,216,000円減)
介護保険事業収益 <10>	192,009,000	190,995,000	1,014,000	1)区から基幹地域包括支援センター事業への委託金(人件費)が増額されたため
障害福祉サービス等事業収益 <11>	43,330,000	81,656,000	△ 38,326,000	1)同行援護事業(25,629,000円 利用者の他事業所移行のため 前年比26,931,000円減) 2)居宅介護事業(10,011,000円 利用者の他事業所移行のため 前年比10,802,000円減)
事業収益計 <12>	295,713,000	337,978,000	△ 42,265,000	
受取補助金等収益				
足立区補助金 <13>	597,771,000	564,816,000	32,955,000	1)人件費補助金570,937,459円 2)障がい者保護雇用清掃事業補助金13,460,000円 3)その他(運営費補助金、あいあいサポート事業補助金、法人後見支援事業補助金)13,373,541円
障がい者雇用関係補助金 <14>	14,904,000	14,904,000	0	1)障害者雇用調整金
共同募金配分金 <15>	12,317,000	14,130,000	△ 1,813,000	1)令和2年度における募金額がコロナウイルス感染症の影響により減となったため

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	概要（比較増減理由）
受取受託金等収益				
足立区受託金 <16>	59,238,000	56,243,000	2,995,000	1) ボランティア施設管理事業の施設予約システム導入のため
東社協受託金 <17>	26,440,000	28,515,000	△ 2,075,000	1) 東社協から地域権利擁護事業への委託金(人件費)が0.5人分減となったため
受取補助金等収益計 <18>	710,670,000	678,608,000	32,062,000	
雑収益				
その他の収益 <19>	1,597,000	1,554,000	43,000	
雑収益計 <20>	1,597,000	1,554,000	43,000	
その他の活動による収益				
積立資産取崩収益 <21>	42,957,000	59,365,000	△ 16,408,000	1) 公益事業会計の人件費減に連動することによる減
その他の活動による収益 <22>	5,200,000	5,200,000	0	1) 高齢者あんしん生活支援事業長期預託金
その他の活動収益計 <23>	48,157,000	64,565,000	△ 16,408,000	
経常収益計 <2+4+6+12+18+20+23> <24>	1,063,229,000	1,089,968,000	△ 26,739,000	

(2) 経常費用

単位：円

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	概要（比較増減理由）
人件費 <25>	856,825,000	878,923,000	△ 22,098,000	1) 事務局運営事業(人件費491,106,000円 常勤職員1名増のため 前年比27,749,000円増) 2) 同行援護事業(人件費23,204,000円 事業規模縮小のため 前年比21,850,000円減) 3) 居宅介護事業(人件費8,075,000円 事業規模縮小のため 前年比10,241,000円減) 4) 障がい者保護雇用清掃事業(人件費72,785,000円 援助者及び作業員が新給与制度の対象外のため 前年比18,243,000円減)
事業費 <26>	73,660,000	83,660,000	△ 10,000,000	1) 法人運営事業(賃借料50,000円 拠点計画の見直しのため 前年比8,400,000円減) 2) 法人後見支援事業(業務委託費639,000円 弁護士委託費の減のため 前年比628,000円減) 3) 手話通訳者派遣事業(諸謝金6,483,000円 派遣件数減のため 前年比510,000円減)
事務費 <27>	110,610,000	106,716,000	3,894,000	1) 事務局運営事業(業務委託費2,823,000円 ネットワーク機器リプレイスのため 前年比1,798,000円増) 2) 事務局運営事業(手数料1,389,000円 インターネットセキュリティシステム導入のため 前年比866,000円増) 3) 事務局運営事業(保守料3,128,000円 勤怠管理システム、リースPC保守のため 前年比831,000円増) 4) ボランティア施設管理事業(事務費14,931,000円 委託金増にともなう消費税の増及び施設予約システム保守料のため 前年比853,000円増)
分担金 <28>	1,345,000	1,340,000	5,000	
助成金 <29>	7,778,000	8,476,000	△ 698,000	1) ふれあいサロン支援事業(会場助成金の減及び研修・イベント助成金を見直したため 前年比608,000円減)
負担金 <30>	86,000	86,000	0	
固定資産取得 <31>	2,359,000	264,000	2,095,000	1) 事務局運営事業(401,000円 老朽化したネットワーク機器購入のため 前年比401,000円増) 2) ボランティア施設管理事業(1,958,000円 施設予約システム導入のため 前年比1,694,000円増)

科 目		本年度予算額	前年度予算額	比 較 増 減	概要（比較増減理由）
退職共済掛金（東社協）	<32>	5,166,000	5,103,000	63,000	
その他の活動による費用	<33>	5,200,000	5,200,000	0	
予備費	<34>	200,000	200,000	0	
経常費用計	<35>	1,063,229,000	1,089,968,000	△ 26,739,000	